

令和3年5月20日
消 防 庁

緊急消防援助隊 PR 動画（大規模災害発生時の消防活動映像）の公開

緊急消防援助隊は、平成7年の阪神・淡路大震災を契機に同年に創設され、その後発生した大規模な災害に対し、これまでに42回の出動実績があります。

この度、緊急消防援助隊が、地域住民の安全・安心を守る消防組織として創設以来25年という節目を迎えたこと、そして、より国民に身近に感じてもらうことを目的として、緊急消防援助隊のPR動画を作成しましたので、消防庁ホームページ上に公開し、広く周知いたします。

[公開動画]

● 「【総務省消防庁】緊急消防援助隊 PR 動画（完全版）」

（再生時間：17分27秒）（ナレーション：照英氏）

概要：どこでも起こりうる大規模災害は時に生命、財産を無情にも奪っていきますが、その緊迫した人命救助活動の中で消防士たちは何を感じ活動しているのか、大規模災害時の映像や訓練映像を交え、消防の活動を詳しく解説しています。人々の災害時の記憶や教訓が風化しないよう、防災意識の啓発資料としても活用できます。

● 「【総務省消防庁】緊急消防援助隊 PR 動画（ショート版）」

（再生時間：3分00秒）

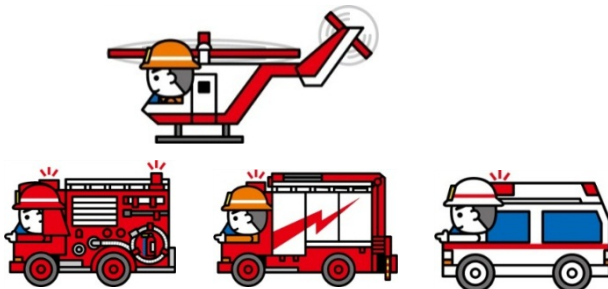
概要：過去大規模災害時等における緊急消防援助隊の活動映像と消防職員のインタビュー等を臨場感を交えて紹介しています。

● 収録内容：大規模災害時の人命救助映像や緊急消防援助隊特殊車両等の紹介

[動画掲載場所]

総務省消防庁ホームページ（「緊急消防援助隊 ALL」ページ）

URL：<https://www.fdma.go.jp/mission/prepare/rescue/post-12.html#kinshoutai01>



連絡先
消防庁 国民保護・防災部 広域応援室
担当 松藺補佐・高田係長・長内事務官
電話 03-5253-7527
FAX 03-5253-7537

緊急消防援助隊とは

普段は、皆さんの住む市町村を守る消防士・・・・・・・・

しかし、大規模災害や特殊災害が発生した場合は、被災地の消防機関では対処できないことがあります。

そんなとき、被災地からの要請を受け、各都道府県の消防本部や航空隊が、空から陸から応援に駆けつけます。

この応援部隊こそが、「緊急消防援助隊」なのです。

緊急消防援助隊の応援の仕組み

緊急消防援助隊は、消防庁長官からの出動の指示などを受けて、被災地に迅速に出動します。首都直下地震や南海トラフ地震などの大災害では、特別な計画に基づいて、全国規模に応援出動します。



大規模災害が発生し、被災地から応援要請



消防庁から各県知事、市町村長へ応援を求める



被災地へ向け出動



被災地で活動

緊急消防援助隊の主な出動実績

令和3年3月31日現在

- 平成15年 十勝沖地震
出光興産北海道製油所ナフサ貯蔵タンク火災 381隊1,417人
- 平成16年 新潟県中越地震 480隊2,121人
- 平成17年 JR西日本福知山線列車事故 74隊270人
- 平成23年 東日本大震災 8,854隊30,684人
- 平成26年 8月豪雨による広島市土砂災害 399隊1,296人
- 平成26年 御嶽山噴火災害 547隊 2,171人
- 平成28年 熊本地震 1,644隊 5,497人
- 平成28年 台風第10号による災害 257隊1,044人
- 平成30年 7月豪雨 1,383隊5,385人
- 令和2年 7月豪雨 532隊1,999人

(備考)出動隊数及び人員は、消防庁の集計による。